

(ていねいな言葉を使おう) のレシピ

< ねらい、目的 >

小学生3、4年生を対象に、学校や地域、家庭で、身に付けて使ってほしいていねいな言葉遣いをゲーム等を行いながら覚えることができます。

※「ていねいな言い方」は、一例ですので、他の言い方も考えられます。

< 材料 >

- ・ A4厚手の画用紙（印刷済み）片面14枚 両面7枚 カードケース 表紙（ラミネート済み） リスト

< 作り方 >

- ① 言葉カードのプリントを線に合わせて切ります。
- ② 片面のカードで、「ふつうの言い方」と「ていねいな言い方」を区別するために、どちらかに○シールを貼ください。（この作業は、各自で行ってください。）
- ③ カードケースの上に表紙を貼ります。

< 使い方 >

(1) 両面カードをリングに留め、繰りながら覚えていきます。

※以下は、片面カードを使って遊びながら覚えていく使い方です。

(2) 「ていねいな言い方」カードを机の上に広げます。読み手が「ふつうの言い方」カードを読み上げ、それに対応する「ていねいな言い方」を探して取ります。カードを何枚取ったかで、勝敗を決めます。

（カードが多いようであれば、何枚かに分けて行うとよいと思います。）

(3) 「ふつうの言い方」カードと「ていねいな言い方」カードを裏返して机の上に広げます。神経衰弱の要領で対応したカードを取ります。カードを何枚取ったかで、勝敗を決めます。カードを区別するためにシールを貼っておいてください。

※他にも、いろいろな遊び方を考えて、子ども達が楽しみながらていねいな言葉遣いが覚えられるようにするといいですね。



○イラスト 小倉南特別支援学校 佐々木裕子先生
○この教材は、「マンガでおぼえる 敬語」 斉藤孝著 岩崎書店 を参考に製作しています。